

専門サービス部会部会長報告

会議名：第5回専門サービス部会(オープン部会)

日時：2021年3月4日(木) 13:30～15:00

場所：パーティーギャラリー イヤタカ

出席者：各部会員41名、水澤専務理事

懇談：

テーマ「ウィズコロナ時代の感染症対策について」

ゲスト 株式会社ダイナミック・サニート
環境衛生コンサルタント 金澤 良浩 氏

◆新型コロナウイルスの環境中での生存期間

米国国立衛生研究所やCDCなどの共同研究によると、エアロゾル内で最大3時間、銅の表面で最大4時間、段ボールで最大24時間、プラスチックとステンレスで約2～3日間、生存した。

◆スタッフやお客様に感染者がでた場合の緊急時対応

感染者・濃厚接触者の隔離について保健所の指示を仰ぐ。消毒の実施は誰の指示で誰がどのように行うか事前に確認することが重要。

◆営業の継続・中断・再開の判断

科学的に分かっているウイルスの生存期間を過ぎていれば再開できると思うが、利用者の気持ちの面から消毒作業を行ってからの再開になると思われる。

◆新型コロナウイルス対策のポイント

- ・ 根拠のない楽観は危ない。敵を知ればやるべきことが見えてくるが消毒には限界がある。
- ・ イベント等の主催者の気持ちとして、コロナ対策で来場者に不便な思いをさせることに抵抗があるが、利用者は利便性よりも安全性を優先している。
- ・ 消毒は一過性のものであり、消毒後は効果が継続しない。抗ウイルス加工なども感染リスクの軽減に一定の効果がある。



金澤氏



3



会場の様子